

今年3月12日から道路交通法が改正！

各種の検査で認知症と診断された場合、免許の取消や停止となります。

改正
ポイント

①

免許更新時の検査が
合理化および厳格化

改正前

70 ～ 74 歳の方	運転適性検査 60分
	討議 30分
	講義 30分
	実車指導 60分

75 歳以上の方	運転適性検査 60分
	講義 30分
	実車指導 60分

平成29年3月12日以降
施行日

改正後

70
～
74
歳の方

75
歳以上の方

認知機能検査

認知機能の
低下が無い方

認知機能が低
下しているお
それがある方

認知症ではない

認知症のおそれがある方
臨時適性検査または医師
の診断書提出が義務化

認知症と判断
または診断

合理化講習
計2時間

運転適性検査 30分
双方向性講義 30分
実車指導 60分

高度化講習
計3時間

運転適性検査 30分
双方向性講義 30分
実車指導 60分
個別指導 60分

免許取消
又は停止

さらに

改正
ポイント

②

75歳以上の方が免許更新前に『認知症を疑われる違反』
をした場合、臨時認知機能検査が義務化

違反行為

臨時認知機能検査



認知機能の低下が無い方

免許継続

検査の結果、認知能力が
低下している場合

認知症のおそれがある方

臨時適性検査または医師の
診断書提出が義務化

認知症ではない

認知症と判断
または診断

臨時高齢者講習
実車指導 60分
個別指導 60分



免許取消
又は停止

今回の道路交通法改正では、認知機能に対する検査と、それに伴う免許取消等の処分が厳格化されましたが、ひとたび事故で命が失われれば、被害者・加害者双方の人生に大きな影響をおよぼします。特に認知症は、普段の生活にも多大な影響がありますので、これからも長く運転してくため、検査に向けて確認や準備をしたり、家族と相談するなどして安全運転を心がけましょう。

肉体の衰えを実感したら、『自主返納』の検討を



上ノ国駐在所
白澤 仁 警部補

年齢による視力や判断力の低下は普通のことで、仕方のないことです。しかし、ひとたび事故が起こればそれは仕方のないことでは済みませんので、高齢な方は特に注意しましょう。

また、運転に自信が無くなってきたという人には、自主返納という選択肢もあります。

江差警察署では2～3ヶ月に3～4人ほど自主返納に関する相談を受けており、上ノ国町では昨年、4名が江差警察署を通して免許証を自主返納されました。

自動車の運転は、間違いのあってはならないことです。心配な方は、まずご家族と相談してみてもいいのではないでしょうか。



安全運転や免許の返納に関するお問い合わせは
江差警察署(☎52-0110)まで